伏見中学校だより

ふし見

令和８年(2026年)11月13日発行

全国学力・学習状況調査
分析　特別号

全国学力・学習状況調査の結果分析

4月に「令和8年度全国学力・学習状況調査」が3年生を対象に実施されました。これは、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証、また、学校における児童生徒への教育活動の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としたものです。既に報道等で御存じの保護者の方も多いことと存じますが、9月に札幌市の調査結果の概要が発表になりました。つきましては、本校の結果をお知らせいたしますので、御家庭での学習などにお役立てください。3年生の生徒本人および保護者の方には、9月に配付した個人票と併せて御覧ください。

この資料は、本校ホームページからも見ることができます。

札幌市立伏見中学校 URL→　https://www16.sapporo-c.ed.jp/fushimi-j

国語・数学・英語の調査結果から

国語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ■知識及び技能 △言語の特徴や使い方に関する事項 全国平均に比べ上回っている。 ■思考力、判断力、表現力等 △話すこと・聞くこと 全国平均に比べ上回っている。 △書くこと 全国平均に比べ上回っている。 △読むこと 全国平均に比べ上回っている。	●語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。 ●問題形式が記述式になると、回答欄に記入できず、無回答となる生徒がいること。	○語彙力を育てる学習活動の充実と文章中の語句の意味を正しく理解できる学習活動を充実させる。 ○上記の正しく理解した語句を表現活動に生かす学習機会を増やすことで、確かな表現力を身につける。 ○自分の考えを書く、話すといった表現活動を経て、自身に何が必要か、何が足りないかといった振り返りを充実させ、次に生かす学習活動とする。

『全国平均との比較の記号の意味について』

△上回っている

ほぼ同等程度
◇やや上回っている　＋3ポイント
◆やや下回っている　－3ポイント
← 全国平均正答率

▼下回っている

数学

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 △「数と式」 全国平均に比べ、上回っている。	●統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。	○既習事項を統合的・発展的に考え、数学的な表現を用いて根拠を説明する活動を充実させる。自身の説明を振り返り、正しく評価・改善する活動を充実させる。
△「図形」 全国平均に比べ、上回っている。	●図形の性質や条件から、根拠となる事実を見い出すこと。	○図形の性質や定理を単なる確認とせず、理由や根拠を明確にする。視覚情報だけでなく、操作活動を通して理解を深めるようにする。
△「関数」 全国平均に比べ、上回っている。	●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	○関数を式・表・グラフに表現することや予想したことが正しいことを式・表・グラフのいずれかを選択し説明する活動を充実させる。
△「データの活用」 全国平均に比べ、上回っている。	●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	○図・表などで事象を整理して考察し、判断理由を数学的な表現を用いて他者に分かりやすく説明する活動を充実させる。

英語

今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ●「聞くこと」 日常的な話題に関する内容を聞き、概要を捉えること。	○日頃の教科書の音読を大切にすることと、英語音声や ALT の話に触れる機会を充実。一語一語全てを聞き取ろうとするのではなく、話全体の要旨を捉える学習活動の充実。
●「読むこと」 日常的な話題に関する内容を読み、必要な情報を読み取ること。 日常的な話題に関する内容を読み、短い文章の概要を捉えること。	○文全体の概要を捉えるために、特定の部分にとらわれることなく、時を表す表現に注目したり、段落間の関係に注目しながら読み進める学習活動の充実。概要のとらえ方や、教科書本文の読み取りの活動の充実。
●「話すこと」[やり取り] 言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用すること。	○日頃のスモールトークなどを通して、身近な場面でのコミュニケーション活動の充実。当該言語材料について理解したり練習したりするための指導の充実。
●「話すこと」[発表] 社会的な話題に関して聞いたことについて、自分の考えとその理由を話すこと。	○社会的な話題に関して、既習の表現などを駆使しながら自分自身の考え方や気持ちを理由などと共に聞き手に話して伝える学習活動の充実。
●「書くこと」 社会的な話題に関する内容を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと。	○まとまりのある文章を読み、筆者の主張を捉えた上で、自分の意見、その理由を既習の表現などを駆使しながら書く学習活動の充実。

質問紙調査結果より

◇肯定的な回答が 80％以上のものや顕著に良かったもの

質問番号	質　問　事　項	伏見中	全国平均
(1)	朝食を毎日食べていますか	91.0%	(90.9%)
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	87.2%	(92.4%)
(8)	自分には、よいところがあると思いますか	87.2%	(84.0%)
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.9%	(90.9%)
(11)	人が困っているときは，進んで助けていますか	88.5%	(90.8%)
(12)	いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか	91.0%	(95.1%)
(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	91.0%	(95.9%)
(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか	86.5%	(85.4%)
(17)	友達関係に満足していますか	93.0%	(91.2%)
(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか(「ときどきある」以上を回答した率)	91.1%	(91.0%)
(36-1)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができると思いますか	88.4%	(84.8%)
(36-2)	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができると思いますか	92.3%	(90.9%)
(36-4)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思いますか	87.2%	(80.0%)
(42)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	84.6%	(87.0%)
(46)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	87.2%	(92.4%)
(47)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	85.9%	(80.8%)
(48)	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	89.1%	(81.7%)
(49)	あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	82.7%	(84.5%)

(51)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.9%	(91.3%)
(62)	数学の授業の内容はよくわかりますか	82.0%	(74.2%)
(65)	1、2年生のときに受けた授業では、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	80.1%	(77.8%)
(67)	1、2年生のときに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか	81.4%	(68.4%)
(71)	英語の授業の内容はよく分かりますか	80.8%	(64.2%)
(72)	英語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	89.7%	(87.6%)
(74)	キーボードを使って英語を書くことができますか	87.1%	(76.7%)
(78)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか	84.6%	(85.1%)
(79)	1、2年生のときに受けた授業では、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	85.9%	(82.8%)

◇肯定的な回答が 50%以下のものや気になるもの

質問番号	質　問　事　項	伏見中	全国平均
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	70.6%	(80.5%)
(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等で SNS や動画視聴などをしますか（「2時間以上」と回答した率）	74.4%	(74.9%)
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	61.5%	(67.6%)
(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	54.5%	(72.3%)
(43)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	71.8%	(79.0%)
(53)	国語の勉強は好きですか	47.4%	(57.2%)
(69)	英語の勉強は得意ですか	48.7%	(39.5%)
(73)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり就職に就いたりしたいですか	37.8%	(34.1%)
(80)	1、2年生のときに受けた授業では、キーボードを使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか	47.5%	(61.3%)

伏見中学校　全調査結果より

今回の3年生を対象とした教科に関する調査結果では、国語・数学・英語の全領域（英語は聞く・書く・離す）で全国平均を上回るという結果となりました。また、生徒に対する質問紙調査も行われ、成果や課題、改善の方向をまとめましたので、御報告いたします。

１．豊かな人間性の育成（自己有用感、幸福感）、学校生活について

問8「自分にはよいところがあると思いますか」、問15「学校に行くのは楽しいですか」、の問に対して、85％以上の生徒が肯定的に回答していました。また、問9「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、問17「友達関係に満足していますか」、問 21「普段の学校生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」では、90％以上の生徒が肯定的に回答しており、自分のよさの認識、教師から認められている実感、友人関係や学校生活への肯定感が高い結果となりました。しかしながら、問 10「将来の夢や目標を持っていますか」、問 33「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますが」では、肯定的な回答が54～62％に留まっていました。学習や学校生活が社会・地域とどうつながるかを実感できる機会を増やすことや、身近な課題に対して自分にできる行動を考え実践する活動の充実を図っていきます。

今後も「一人一人が大切にされている」と実感できる学校づくりを目指し、「子どもの声を聴く」姿勢を大切に、子どもに寄り添い、子ども同士がお互いのよさを認め合えるような教育活動を推進していきます。

２．学習に関する意識について

問23＆25「学校の授業時間以外に、普段や土日にどれくらい勉強しますか」の問には、「平日1時間以上」と回答した生徒が69.9％（全国 61.6％）、「土日2時間以上」と回答した生徒が39.1％（全国 29.9％）と全国平均を上回っており、塾での学習時間を含んだ回答とはなっていますが、日常的な学習習慣が身に付いている生徒が全国よりも多い結果となりました。

ICT の活用においては、問 36-1「ICT 機器で文章を作成することができる」、問 36-2「インターネットを使って情報を収集することができる」、問 36-4「ICT 機器を使ってプレゼンテーションを作成することができる」の問にはどれも85％以上と高く、ICT 機器の活用に自信をもち、有意義に学習を進めることができると感じている生徒が多い結果となりました。今後も、ICT を活用した授業や教育活動を推進していきます。

さらに、問 46「友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」、問 47「自分で課題を立てて調べ、発表する活動」の問でも85％以上と全国平均を上回っており、各教科の授業において課題探究的な学習や協働的な学びを推進した結果といえます。また、問 62～79 の結果にある通り、数学や英語においても全国平均を上回る回答が多く見られました。現状に満足することなく、今後も授業力の向上を目指し、課題探究的な学習に一層力を入れるとともに、札幌市が掲げる「さっぽろっ子『学び』のススメ」に基づき御家庭とも連携していきたいと考えております。

今回の結果を踏まえ、本校の研究主題である「個に応じた充実した学習支援と、見通しをもって主体的に取り組めるような授業づくり」を目指し努力してまいりますので、引き続き御家庭での御支援をお願いいたします。

次ページに「さっぽろっ子『学びの』ススメ」「さっぽろっ子ICT活用のススメ」を掲載しております。学校も、家庭も、“まほうのかいわ”で習慣づくりを進めていきましょう。御協力をお願いいたします。

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐものです。



子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり

ま 学んだことを一緒に振り返りましょう。

ほう 方法を一緒に考えましょう。

の 伸びを認め、ほめましょう。

かい 改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

わ わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。



SAPPORO 札幌市教育委員会

まほうのかいわを合言葉に「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくり！

学校

大切な5つのポイント

- 意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。
- 「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにします。
- 自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようにします。
- 生活を自らコントロールする力を育みます。
- 難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。

連携

子どもが自分で決めることを促すためには？
「～について、目指したいことは何？」
「～を頑張ったら、どんな自分になれると思う？」
「自分で決めることが大切。自分で決めるまで待ってるよ」
「～しなさい」メッセージより、「背中を押す」メッセージを！

子どもの伸びを認めるためには？
「漢字をこんなに書けるようになっていて、感心したよ」
「毎日、縄跳びを頑張っている姿が見られて、うれしいな」
「お手伝いをしてくれて、ありがとう」
「YOU」メッセージより、「I」メッセージを！
※「I」メッセージ＝「私」を主語にしたメッセージ

子どもの継続した取組を支えるためには？
「学校でどんな勉強をしてきたの？一緒に振り返ってみようか」
「休みの日は、一緒にジョギングをやってみようか」
「早起きできるようになる方法を一緒に考えてみようか」
「～続けなさい」メッセージより、「一緒に」メッセージを！

家庭

ま 学んだことを一緒に振り返りましょう。

ほう 方法を一緒に考えましょう。

の 伸びを認め、ほめましょう。

かい 改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

わ わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。

これからの一年間、家でがんばりたいことは…



一年間のがんばりを振り返って



さっぽろっ子 ICT活用のススメ

1人1台端末を文房具として、子どもが主体的に活用します

子どもが必要性を主体的に判断しながら1人1台端末を活用します。子どもの「学ぶ力」の育成を目指し、学校で、家庭で、適切かつ効果的な端末の活用を促していきましょう。

「学ぶ力」の育成

「課題探究的な学習」の推進

多様な他者との対話をはじめ、思考が深まる学びの場面や、考えをまとめ発表する場面等での活用を一層進めます。

協働的な学び

個別最適な学び

子ども一人一人の主体性

「自治的な活動」の推進

端末を活用して、生活上の課題を見付け、解決に向けて主体的、実践的に取り組む活動を進めます。

「情報活用能力」の育成

日常的にICTの活用を促すことで、情報を適切に収集・整理・分析・発信等ができる力を育成します。

家庭での運動習慣づくりによる「健やかな体」を育成します。

登校できない場合でも先生や友達とつながることで「豊かな心」を育成します。

ICT活用のまほうのかいわで

学校と家庭のつながりを大切にし、互いが同じ目線に立って連携・協働しながら、子どもを見守り、育みます。

札幌市教育委員会

ICT活用のまほうのかいわ

ICT活用も習慣づくりが大切です

大切な5つのポイント

	学校	家庭
協働的な学びと個別最適な学びの充実	ICTを活用した学習が、多様な他者と協働しながら考えを深める学びや、子どもにとって自分にふさわしい学びとなっているかどうか、家庭で話題にしてみましょう。	ま 学びにつなげる
安心・安全で効果的な活用	使用時間など健康に配慮した使い方や、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度（情報モラル）を身に付けられるよう、子どもと話し合いましょう。	ほう 方法を考える
自己調整に生かす学習履歴	端末を活用した学びの記録を子どもと一緒に振り返りながら、伸びを認めるとともに、つまづいているところがあれば、どのように改善を図っていくのか、一緒に考えましょう。	の 残して振り返る
ICTの特性や強みを生かす	必要な情報を幅広く集め、分析したり、意見の即時共有を図ったりするなど、ICTの特性や強みを生かすことで、子どもが疑問や課題を自ら解決していけるよう促しましょう。	かい 解決する
主体的に学習に取り組む態度の育成	ICTを活用して、子どもが試行錯誤しながら粘り強く取り組み、「分かる・できる・楽しい」学びにつなげていけるよう、学校と家庭の連携・協働を深めていきましょう。	わ 分かる・できる・楽しい

学校では主にこんな端末を使用しています。

機種名：クロームブック Chromebook
OS名：Google chrome OS端末
CPU：Intel(R) Celeron(R) N4020 CPU @1.10GHz
メモリ：4 GB
画面サイズ：11.6型
キーボード：有

年度初めに、学校から配付される書類等は**保護者と子どもが一緒に確認をしましょう。**

端末を家庭に持ち帰っての活用も行います。ネットワーク環境の整備等の確認をしていきましょう。

札幌市ホームページにも掲載しています。

「ICTを活用した教育の推進」

- □1人1台端末活用のガイドライン【札幌市版】
- □1人1台端末活用リーフレット
- □1人1台端末活用の基本的なルール
- □アカウント、端末を安心・安全に使うためのチェックポイント（確認書）
- □札幌市立小中学校等における端末貸与規程
- □札幌市立小中学校等端末貸与申請兼同意書
- □家庭のWi-Fiに接続する方法